

## は し が き

1. 当研究所は、平成 15 年度外務省委託として「プーチン大統領の進める焦眉の制度改革（政治面）」に関する調査研究を行い、本報告書はその成果をとりまとめたものです。
2. 1999 年にエリツィン政権を引き継いだプーチン政権は、社会経済構造改革を推進すると同時に、エリツィン時代に積み残されていた行政改革、連邦制度改革、軍改革を進め、同時にロシアにおける国家の役割や社会のなかで政府のあるべき姿を模索しています。本研究は、プーチン大統領が政治面で実施しているそのような諸改革について、その意図、現状を整理し、展望を検証することを目的としています。
3. なお、本研究の実施にあたっては、下記のメンバー（敬称略）を中心に研究会が開催され、各回 20 名以上の専門家が出席し、きわめて活発な議論が行われましたことを付け加えます。

研究会メンバーは次の通りです。

主査兼幹事	笠井 達彦	日本国際問題研究所研究調整部長兼主任研究員
委 員	乾 一字	日本大学大学院総合社会情報研究科教授
	上野 俊彦	上智大学外国語学部ロシア語学科教授
助 手	白池 由美子	日本国際問題研究所助手

4. ここに表明されている見解は全て個人のものではありませんが、ロシア情勢の現状と展望を考察する上で、本報告書が貴重な資料となりうることを期待しております。

平成 16 年 2 月

財団法人 日本国際問題研究所

理事長 佐藤 行雄